

【山武地域①】平成30年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

1 展示の概要

設置場所	山武市	品種	アキヒカリ
土性	壤質砂土	播種日	3月31日
播種量	160g/箱	移植日	4月26日
幼穂形成期	6月13日	出穂期	7月8日
成熟期	8月10日	収穫日	8月19日

2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	75cm	穂長	17.4cm
穂数	378本/m ²	倒伏程度	—
粗玄米重	711kg/10a	標準単収値	556kg/10a

3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

(1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：—
- ・施用量：—
- ・施用時期：—

(2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：8.4kg/10a ※肥料銘柄：援農化成
 - ・(追肥) N量：2.9kg/10a ※肥料銘柄：サンライトNKV1
- 追肥実施日：6月14日

(3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：4月26日

(4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：52株/坪
- ・植付本数(4~6本/株を推奨)：5.8本/株

4 考察等

病害虫の発生等もなく、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

(参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥N量	9kg/10a(砂質土の場合)
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1~2mmの時期)に施用します